

杉並支部の
事業より

◆ 4月18日(水)
東京商工会議所園遊会の
開催
八芳園(港区)にて。恒例の本支部
役員の交流会。当支部からは根本
会長、水島建設分科会長、大沼評
議員がそれぞれ夫人同伴で参加。

◆ 5月15日(火)
会員ゴルフ大会【杉友会】を
開催
今回は44回目の実施となった会
員交流のゴルフ会。嵐山カント
リークラブにて開催。

◆ 5月28日(月)
セミナー「これだけは知っておきたい
企業経営に必要な労働保険・社会
保険の実務」
経営者・実務者の立場から知っておくべき
労働保険および社会保険の基本を説明。
講師：社会保険労務士 林智子氏

40周年を迎えた
すずらん通り商店街

パールセンターを青梅街道に
向かって進むと見えてくるのが
「すずらん通り商店街」。すずらん
の形を模した愛らしい街路灯が
印象的なこの商店街が、このほど
創立40周年を迎えました。
各商店街の中でも特にまとま

生まれも育ちも阿
佐ケ谷で、小学生の頃に
は中杉通りのけやき並
木の植樹をしたという
思い出を語ってくださった小川さん。「阿佐ケ谷、
荻窪界限は太宰治をはじめとする文豪が多く住
んでいた街。文化的な香りのする、しっとりとし
た雰囲気が好きですね。」当時の文士の溜まり場
であった中華料理店「ピノチオ」にもよく訪れた
そう。「中央線沿線に住む人は知的レベルが高く、
要求もハイレベル。商店街は、そんなお客様たち
に鍛えられて大きくなりました」と語る小川さん
の笑顔から、長年にわたり阿佐ケ谷の街づく
りに尽力されてきた力強さを感じました。

杉並区の笑顔
杉並区の好きなところを伺いました。

「阿佐谷ジャズストリー
ト」の発起人である前田さ
ん。阿佐ケ谷の美しいけや
き並木にはジャズが似合
う、という発想から、多くの人に親しまれてい
るジャズを街づくりのテーマとしたのは今か
ら13年前。「このイベントを若い人に繋ぎ、応
援することが一番の喜びかな」と穏やかな表
情を浮かべます。生まれ育ちは西荻窪で、善福
寺川や神明天祖神社が思い出の場所。先日も
お孫さんを連れて遊びに行かれたそうで、「昔
ながらの景色を今でも楽しめるのが杉並のい
いところ」と微笑む前田さんは、杉並の持つ温
かな雰囲気をそのままお持ちの方でした。

40周年を迎えた
すずらん通り商店街

パールセンターを青梅街道に
向かって進むと見えてくるのが
「すずらん通り商店街」。すずらん
の形を模した愛らしい街路灯が
印象的なこの商店街が、このほど
創立40周年を迎えました。
各商店街の中でも特にまとま

「阿佐谷ジャズストリー
ト」の発起人である前田さ
ん。阿佐ケ谷の美しいけや
き並木にはジャズが似合
う、という発想から、多くの人に親しまれてい
るジャズを街づくりのテーマとしたのは今か
ら13年前。「このイベントを若い人に繋ぎ、応
援することが一番の喜びかな」と穏やかな表
情を浮かべます。生まれ育ちは西荻窪で、善福
寺川や神明天祖神社が思い出の場所。先日も
お孫さんを連れて遊びに行かれたそうで、「昔
ながらの景色を今でも楽しめるのが杉並のい
いところ」と微笑む前田さんは、杉並の持つ温
かな雰囲気をそのままお持ちの方でした。

南北14の商店街が
阿佐ケ谷の
“活力源”

阿佐ケ谷には南北に合計14の
商店会があり、それぞれが力を合
わせて地域の活性化に取り組ん
でいます。その中で最大の規模を
誇る「阿佐谷パールセンター」の
理事長を務める中村浩一さん
にお話を伺いました。

阿佐ケ谷では、年間を通じてイ
ベントが盛りだくさん。まずは何
といつても、1954年から続く
伝統行事「阿佐谷七夕まつり」。今
年は8月4〜8日に開催され、期
間中は華やかな七夕飾りが街中
を彩ります。「ここ数年は商店街
だけでなく、地元の子供たちが飾
り付けに参加したり、今年からは
杉並高校の学生がボランティア
で各種イベントに加わったりと
阿佐ケ谷全体で七夕ムードを盛
り上げています」(中村さん)。

その他、杉並産の野菜を格安で
販売する「阿佐谷グリーンマー
ケット」、街中にジャズの演奏が響
きわたる「阿佐谷ジャズストリー
ト」、ユニークな仮装に身を包んだ
行列が大打進する「ハロウィン仮

装コンテスト」Ⅱ写真右Ⅱなど、
さまざま催しがあり、パールセン
ターを中心に各商店会一丸と
なっている。また、このほど、これらすべて
の商店会が共同で利用できる大
規模な事務所兼イベント施設の
新設に向け、準備が始まりまし
た。「地域の方々や商店会員が気
軽に集える憩いの場にできれ
ば」とのこと、施設内にはこう
した集会スペースや展示ブース
を確保するほか災害時用の飲料

特集
杉並
阿佐ケ谷ブロック

阿佐ケ谷ブロックとは、阿佐谷北、阿佐谷南の各町です。ここでは、阿佐ケ谷ブロックで
活躍する人たち、催し物などを紹介します。

昭和の初め頃まで農村地帯だった阿佐ケ谷は、桃園川の浅い谷地だったことから「浅い谷」と呼ばれ、のちに「浅が谷」となり
ました。また、14世紀頃より阿佐ケ谷氏という家人が支配していたという記録が残っており、1932年まで「阿佐ケ谷村」と
呼ばれていました。現在は、JR阿佐ケ谷駅南口の駅前から200以上の店舗が軒を連ねる「阿佐谷パールセンター商店街」と、
パールセンターを中心に毎年8月に行われる「阿佐谷七夕まつり」が有名です。今年5月、ゴルフの日本男子ツアーで史上最年
少優勝を果たした「ハニカミ王子」こと石川遼選手が在籍する杉並学院高校も、ここ阿佐ケ谷にあります。

東京商工会議所入会のご案内

～会員として東京商工会議所にご加入いただくと、様々なメリットがございます！～

■資金のご案内
★経営改善資金(マル経融資)：マル経融資(小企業等経
営改善資金)は小規模事業者の方々の経営をバックアップ
するために無担保・無保証人で商工会議所の推薦にもと
づき融資される国(国民生活金融公庫)の融資制度です。
★東京商工会議所メンバーズビジネスローン：東京
商工会議所と協力金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の
提携により、通常より優遇された条件で融資が受けられ
る東商会員ならではのメリットです。

■経営のご相談
専門家が無料でご相談に応じます。
★法律相談・税務相談：経営上、お困りの方はお気軽にご
相談ください。弁護士・税理士がお答えいたします。
★エキスパートバンク：小規模事業者の皆さまからの
ご要望に応じて、東京商工会議所に登録されたエキスパー
ト(専門家)を直接事業所に派遣し、具体的・実践的なアド
バイスによって問題の解決に役立てていただくものです。

政策要望実現活動
経営環境の改善と活力のある経済
社会の実現に向けて会員企業の皆さまの声を政治・行政
に反映させます。

地域振興活動
産業振興・地域活性化に向けて会員企業
の皆さまと地域社会の取り組みを推進します。

杉並支部 今後の事業予定

茶屋二郎氏 講演会
「若き日の渋沢栄一」(仮題)
平成 19 年 10 月 17 日(水) 16:00～17:00
新東京会館(杉並区阿佐谷南 1-34-6)
本名・山科誠。バンダイ社長を
経て現在山科ホールディングス
社長。東商議員・新分野進出支
援委員長、デジタルメディア協会
理事長、日本おもちゃ図書館財
団理事長等、福祉事業でも活躍
している。茶屋二郎のペンネー
ムで精力的な執筆活動を行う。

現在、東商発行の月刊情報誌「TWIN Arch」に小説・渋沢栄一「青淵の竜」を連載中。

会員懇談会・懇親会
平成 19 年 10 月 17 日(水) 17:00～19:00
新東京会館(杉並区阿佐谷南 1-34-6)
茶屋二郎氏講演会終了後、同所にて会員懇談会・
懇親会を行います。参加費は、いずれも無料。

水の備蓄場所などとしても活用
していく予定だそうです。

中村さんに「阿佐ケ谷の魅力
は？」と尋ねると、「人情がある
ところと答えてくださいました。買
い物の後店の端でお茶を飲み、の
んびりしていくお客さんや、祭り
があると商売そっちのけで催し
物に参加する店主。昔ながらの阿
佐ケ谷は、そんな「人の温かみ」で
溢れています。しかし、パールセ

ンターの中で、生え抜きの
店は今や4割程度。新規参入
した大型チェーン店の中に
は、商店街の活動にあまり協
力的でない店もあるそう。
「商店街を盛り上げるには、
地域を良くしていくという
気持ちが必要」と中村さ
ん。人情の街・阿佐ケ谷が
いつまでも続いていくことを
願ってやみません。

地歴散策
～阿佐ケ谷文士村～

◆大正昭和を通じて、多
くの文筆家たちが杉並区
に移り住み、一種のコミュ
ニティを形成していたと
いう事実をご存知でしょ
うか？彼ら「文士」
たちは趣味の将棋
と酒を楽しむため
の会を開き、これを「阿佐ケ谷
会」と呼んでいました。戦前
には、阿佐ケ谷駅のすぐ北側
にあった「ピノチオ」が彼らの
溜まり場になっていたとい
うことです。阿佐ケ谷会の顔ぶ
れには、井伏鱒二、太宰治、三
好達治、伊藤整といった著名
な文士が軒並み名を連ねて
おり、井伏鱒二はその著作「荻
窪風土記」においてたびたび
文士たちとの交流を取り上
げています。

◆区立中央図書館ではこれを
「阿佐ケ谷文士村」と名付け、
阿佐ケ谷図書館(阿佐谷北3
36・14)にその著作を集め紹介
しています。

区内に住んだ
主な文士たち

井伏鱒二
太宰治
河盛好蔵
青柳瑞穂
住井すゑ
三好達治
金田京助
外村繁
大宅壮一
小林多喜二
北原白秋
火野葦平
中華料理店
ピノチオ
横光利一
高円寺
亀井勝郎
伊藤整
中野好夫
西荻窪
荻窪
阿佐ケ谷
井伏鱒二
棟方志功
石井桃子
田河水泡
与謝野晶子

◆また阿佐ケ谷会とは直接関わら
なかったものの、区内には小林多
喜二、横光利一、棟方志功と謝野
晶子といった多数の文士たちが、
その生活の痕跡を残しています。